

アリ、又無袋ノ傘ヲ持家甚多シ、

幕府御成略ニハ、黒天袋蓋、紫紐ハ勿論、柄梨子地葵紋ノ金蒔繪アリ、他ハ専ラ總藤卷也、○中

又搢紳家モ、平日及ビ旅中ニハ、黒天鷲絨袋入ヲ用フ、

大名モ正月參内傘ヲ用フコトヲ得ザル者、黒ビロウド、黒羅紗袋入也、又袋傘ヲ許ザル家ハ、裸傘

ニテ持セリ、黒天鷲絨袋傘ニハ、家ニヨリ紫紐免許アリ、免許ナキハ黒紐也、皆長柄傘也、

万石以下ハ高家ニ袋傘免許ノ家モアル也、岩松氏ハ二百石ニテ袋傘紫紐ナリ、其他袋無之歟、

旅中ニハ専ラ各用之、

官僧ハ皆各黒ビロウド袋傘ヲ用フ、赤爪折等ヲ用ヒテ、朱傘ニ擬ス也、

〔光源院殿御元服記〕後奈良院天文十五丙午歲十二月十九壬寅日、於坂本樹下宅、公方左馬頭義藤

朝臣後被號義輝御元服之次第、○中

一御供衆三騎、○中三騎共赤毛氈鞍覆、白傘袋被爲持、○下

〔甲子夜話〕寛政中カ、秋元但馬守朝永ノ宅ヲ訪タリシトキ、話シニ御譜代ノ大名御役人ノ傘ヲ袋

ニ入ザルコトハ、神祖ノ上意有リシコトナリ、然ラ今時重役方ニモ、コノ御趣意ヲ知ラザルニヤ、

帝鑑衆其外モ各家風ノ行装ヲ其マ、ニセラル、ハ、本ヲ忘ザルトモ云ベキ歟、ナレド御趣意ヲ

守トハ云ガタシト申サレシ、是ヲ以テ思ヘバ、吾天祥君肥前守雄香君壹岐守ノ行装ニ傘ハ袋ナ

カリシト聞ク、コレソノトキ御譜代ノ列ニ加ヘラレ、御譜代ノ勤ル御役ヲモ蒙ラレシ故ナルベ

シ、祖父君諱誠ノ頃迄モコノ如クナリシガ、其後ハ今ノ如ク袋ニハ入ラレシ也、コレハ家ノ先規

ニ復スルト云事ナルベシ、

〔甲子夜話 四十一〕今ノ桑名侯ノ松平越中守○中略傘袋ノ緒ハ尋常ノ組糸ニアラズ、袋ト同ジキレニテ緒

ヲ作り結ブ、